

## 目 次

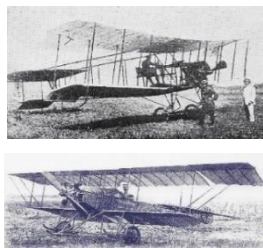
- P.1 所沢陸軍飛行場と民間機・民間委託操縦士
- P.2-3 航空資料コーナー
- P.4-5 図書館を支える人々  
～ボランティア活動紹介～
- P.6 図書館長のつづやき

## 所沢陸軍飛行場と民間機・民間委託操縦士 航空資料コーナー開設に向けて(2) 荒山 彰久

1911年(明治44年)年4月1日に設立されたわが国初の飛行場、所沢陸軍飛行場は当初、臨時軍用気球研究会所沢試験場といった。これはわが国の航空発祥の地が、陸軍と海軍のもとで設立された臨時軍用気球研究会が使用した飛行場であることを意味していた。ただし、実際は陸軍が主導しており、海軍はのちに独立している。このほか、開設当初は民間機も使用しており、また民間操縦士もここで養成されていた。ここでは、所沢陸軍飛行場と民間について考える。

### 1. 所沢陸軍飛行場で飛んだ民間機

民間機で最初に飛行したのは奈良原三次が設計・製作・操縦した奈良原式2号機で、1911年5月5日、わが国初の飛行に成功した国産機である。奈良原は、陸軍の飛行訓練期間の合間を縫って飛行しており、こ



(写真説明)

上段：奈良原式2号機(右端が奈良原三次) 下段：「わか鳥」に乗る滋野清武

のため、のちに千葉県稲毛の干潟を利用した民間最初の飛行場を設立、移転している。なお、都築鉄三郎も都築式2号機を所沢で飛行させたが、以後長野に移動した。3番目は滋野清武(バロン滋野)の「わか鳥」で、本機はフランスで滋野が設計し操縦している。新妻を亡くし渡仏した滋野は、飛行機の操縦を習得し、本機を携えて帰国。臨時軍用気球研究会の御用掛となり、本機を操縦したが、のちに損壊。滋野は退職して渡仏する。仏陸軍航空隊に所属し、戦闘機乗りとして活躍した。

### 2. 所沢陸軍飛行場と帝国飛行協会

民間航空の発展を願って創設された帝国飛行協会は、民間操縦士の養成を臨時軍用気球研究会に委託し、また協会自前の飛行機を格納する格納庫を建設している。委託操縦士の最初は政治家尾崎行雄の息子尾崎行輝で、2回目は後藤正雄と佐藤要蔵、3回目は飯沼金太郎と後藤勇吉であった。後藤正雄は所沢・大阪間無着陸飛行、佐藤は懸賞郵便飛行大会で優勝、後藤勇吉は日本一周飛行を行い、太平洋横断飛行の挑戦者となったが、墜落死している。帝国飛行協会ではドイツのルンプラータウ

ベを2機所有していたが、のちに陸軍に売却。3号機は帝国飛行協会の創設者、磯部鉄吉(おのきち)の「タウベ改造機」で、飛行に失敗している。大阪の寄付者による6号機「曾我」は、尾崎行輝の設計であった。帝国飛行協会は全部で8号機までを所沢で製作・飛行している。また、協会は、発動機製作協議会を開き、民間に開放していた。

### 3. 航空局の委託操縦士

民間機を扱う逓信省(当初、陸軍)内に航空局が設置され、陸軍が委託により、操縦士の養成を行ったが、のちに海軍も実施している。所沢では航空学校に1921年(大正10年)第1期10人の委託操縦生が入学した。世界一周機「ニッポン」の機長中尾純利、朝日新聞訪欧機「東風」の操縦士河内一彦、戦後初代航空大学校長になった国枝実等々を生んでいく。以後もこの制度では、わが国の民間航空の礎を築いた面々を輩出した。所沢陸軍飛行場での航空局委託操縦士は、1937年(昭和12年)9月に航空学校の後身、所沢陸軍飛行学校が閉校するまで継続され、その最後は第16期であった。

【筆者は航空史研究家・所沢航空資料調査収集する会会員。】

# 航空資料コーナー

「貴重資料のご紹介」

所沢図書館本館の航空資料コーナーが、令和7年11月8日に拡大オープンしました。航空史研究家の故・田中昭重（たなか てるしげ）氏の蔵書より寄贈された数々の図書や雑誌から主だったものを紹介します。

## 雑誌



### 「航空ファン」

1952年の創刊から現在も刊行が続く航空雑誌です。軍用機の情報が多くなっていますが、民間機についての情報も扱っています。航空資料コーナーでは、創刊号を含む70年以上にわたるバックナンバーの大半を所蔵しています。1960年代以前のものは、書庫に収納していますが、ご希望があれば、手に取ってご覧いただくことができます。

### 「エアライン」

1980年の創刊から現在も刊

行が続く航空雑誌です。創刊後5年ほどは、航空業界への就職情報も多く掲載されていました。その後は、旅客機と航空業界の情報を主に扱っています。

### 「航空ジャーナル」

1974年創刊1988年休刊の航空雑誌です。航空ファンと同じく軍用機に関する記事が大半を占めています。航空評論家・青木日出雄氏が主筆を務め、その記事には定評があります。

### 「世界の傑作機」

3期にわたって刊行されているシリーズで、基本的に「1機種1冊」となっています。扱っている航空機のほとんどは軍用機です。冊子の厚さは薄めですが、内容は濃いシリーズで、写真も多く模型作りにも役立ちます。

最新シリーズはNo. 213まで刊行されており、航空資料コーナーでは、一部欠号があるものの多くを所蔵しています。

## 航研機復元に関する資料

田中昭重氏とも親交のある航空機設計者の木村秀政氏が設計に関わった「航研機（\*）」。

残念ながら実機は残っていませんが、青森県立三沢航空科学館に復元した機体が表示されています。

田中昭重氏は、航研機の復元プロジェクトで「時代考証」を担当していました。航空資料コーナーでは、航研機復元に関する図書を所蔵しています。

『幻の名機再び 航研機復元に挑んだ2000日』水嶋英治、前田建、天本壽人、野口建／編著 オフィスHANS 2004年

『航研機 世界記録樹立への軌跡』富塚清／著 三樹書房 1996年（新訂版は1998年刊）

紹介した2冊は貸出用もあります。

\* 航研機とは東京帝国大学附置航空研究所設計の実験機のことです。



航空資料コーナー入口  
参考図書室奥にあります。



航空資料コーナー内部  
航空関係の図書・雑誌を集めました。



3階廊下に展示している航空機の模型  
数々の軍用機や民間機を展示しています。

限られた紙面では紹介しきれませんが、航空資料コーナーには、他にも魅力的な資料があります。皆さまもぜひ一度、お越しいただき航空の世界に触れてみてください。



## 航空資料コーナー拡大

### オープン記念イベント

所沢図書館本館では、航空資料コーナーの拡大オープンを記念して、航空に関する展示やイベントを行いました。

#### 1階ガラスケース

#### 「飛行機！航空機！」

#### 資料展示

1階では、「飛行機！航空機！」と題して、飛行機の図鑑や雑誌、また、所沢にゆかりのあるアンリ・ファルマン号や、所沢航空記念公園にあるYS-11が掲載されている本などを展示しました。青い空を飛ぶ飛行機がとても爽やかな展示となりました。



また、1階ガラスケースでは寄贈いただいた資料のなかで、特に貴重な資料の展示も行いました。



#### 所沢図書館まつりイベント①

#### 「飛行機の工作会」

11月8日(土)・9日(日)に行った第26回所沢図書館まつりでは、「飛行機の工作会」面白い飛行機を作ってみんなで飛ばしてみよう！」を行いました。参加者の皆さまと作ったのは、「イカ飛行機」と、「ヒモコン」です。「イカ飛行機」とは、遠くへ飛ぶように紙飛行機の先にイカの頭の形の突起を作ったものです。また、「ヒモ

コン」とは、紙飛行機にタコ糸を結び付けたおもちゃで、ぶんぶん回して遊びました。それぞれ作った紙飛行機にペンやシールでデコレーションを楽しみました。

当日は、親子で参加された方25名にボランティアの埼玉県立芸術総合高校の学生も加わり、会場はとても賑やかで、楽しいものとなりました。

イベントでは、ヒモコンが回る原理のおはなしもあり、飛行機の技術に興味を持ってもらうきっかけにもなったと思います。

イベントの最後には、トコろんが登場し、みんなと一緒に飛行機を飛ばしました。



#### 所沢図書館まつりイベント②

#### 「航空資料のリサイクル本」

航空資料コーナーの拡大オープンにあたって、寄贈資料と図書館所蔵資料と突き合わせを行い、不要となった資料については、図書館まつりでリサイクルコーナーを設置し、自由にお持ち帰りいただきました。

図書館まつりの二日間で118人の方が利用され、普段はない航空資料のリサイクル本はとても好評でした。



今後も展示やイベントを行う際には、広報紙やホームページでお知らせいたします。ぜひご参加ください。

# 図書館を

## 支える人々

### ボランティア活動紹介

図書館は、地域の誰もが気軽に立ち寄り、学びや交流を深められる大切な場所です。所沢図書館では、意欲のある市民（中学生以上）へ、活動の場を提供するために、各種ボランティアを育成（講座・研修の実施等）し、市内各館で、市民がその成果を十分に発揮できる機会を提供するとともに、市民との協働による事業を実施し、図書館サービスの向上に努めています。

現在、所沢図書館では、書架を整え、快適な閲覧環境を作る【配架・書架整理ボランティア】と、こどもたちに読書の楽しさやおはなしの世界を届ける【所沢紙芝居の会】や【おはなし会ボランティア】、【所沢市文庫・親子読書会連絡会】の皆さまが活動しています。

今回は、それぞれのボランティア活動の内容を紹介します。

#### 配架・書架整理 ボランティア

はじめに、どなたでも活動が可能な【配架・書架整理ボランティア】をご紹介します。

配架・書架整理ボランティアは、返却された図書を「本日の返却本」の棚から所定の棚に戻す配架と、図書をルール通りに並べ、見つけやすいよう書架を整える書架整理をしています。

所沢図書館では、『NDC（日本十進分類法）』による分類が図書の背表紙に貼られたラベルに表記され、この数字順に図書が並べられています。

背表紙のラベル



上 分類番号(NDC)  
中 図書記号主に著者名の頭文字  
下 巻数

その他、図書の大きさや種類、書架のスペースによって、各館で独自のルールを設けて、配架をしています。

そのため、配架・書架整理ボランティアの活動を希望する方は、はじめに、日本十進分類法や活動する館での配架ルールについて説明をいたしますので、活動希望館の職員にお声がけください。

説明を受け、ボランティア登録を完了した方は、ご自身の都合の良いときに来館いただき、ボランティア活動を行うことができます。

※活動日時は図書館が開いている日・時間のみとなります。

#### 夏休み学生 ボランティア

夏休みには、中学生・高校生を対象にした「夏休み学生ボランティア」の受入れもしています。活動内容は先に紹介した「配架・書架整理ボランティア」と同様です。学生の皆さまのご参加をお待ちしております。※活動証明書の発行や課題への対応等は要相談。

#### 配架・書架整理

ボランティアの方の声

Q1 .. 配架ボランティアを始めようと思ったきっかけを教えてください。

A1 .. 新型コロナウイルス感染症が流行した際に、「コロナ禍で人の役に立つことがやりたい」と考え活動を始めました。

Q2 .. 活動を始めようと思ったことはありますか？

A2 .. 配架や書架整理をすると、沢山の本に触れることができ、その中で、昔読み逃した本にまた出会うことができました。

Q3 .. 活動していて気づいたことはありますか？

A3 .. 利用者端末で印刷した「所在確認票」の見方（BⅡ文庫・SⅡ新書等の意味）や並んでいる順番がわかり、本を自分で探せるようになりました。

配架・書架整理ボランティアは本館・各分館で活動可能です。活動希望の方は活動希望館の窓口までお気軽にお問い合わせください。



## 所沢紙芝居の会

所沢図書館本館の定例行事「かみしばいの会」で活動している「所沢紙芝居の会」をご紹介します。

所沢紙芝居の会は、平成25年度第14回図書館まつりの企画「演じてみよう！紙芝居」の講座参加者の有志が集まって設立されました。平成28年から所沢図書館の「かみしばいの会」での活動が始まり、現在では図書館以外にも高齢者施設などで幅広く活動されています。

「かみしばいの会」の演目は、所沢紙芝居の会のメンバーが協議をして決定しています。毎月、季節に合ったおはなしや昔話などを取り入れており、多くのこどもたちが開催を楽しみにしています。

また、紙芝居だけでなく、合間に手遊びを取り入れるなど、こどもたちを飽きさせない工夫が施されています。「かみしばいの会」以外にも、特別イベントである「子ども読書の日」の行事や「図書館まつり」でも活動しています。



## おはなし会ボランティア

所沢図書館の定例行事「おはなし会」で活動している「おはなし会ボランティア」をご紹介します。

おはなし会ボランティアに所属しているのは、図書館が開催する絵本の読み聞かせやストーリーテリングの講座を受講し、修了後にボランティア登録を行っていた方々です。図書館では、毎月ボランティア向けの勉強会を開催しています。勉強会で実習や意見交換を通じて技術を磨いた後に、本館や分館のおはなし会等で、こ

どもたちに絵本の読み聞かせやストーリーテリングを行っています。また、勉強会を通してボランティア同士の交流を深めている姿も多く見受けられます。今後も不定期で講座を開催する予定です。今年度は読み聞かせボランティア入門講座を開催しました。おはなし会ボランティアに興味のある方は、所沢図書館本館までお問い合わせください。



## ストーリーテリングとは？

昔話などを覚えて語ることで、「すばなし」ともいいます。

## 所沢市文庫・親子読書会連絡会

所沢市内の地域文庫や親子読書会は、図書館の本等を用いて、親子や小学生が本を通じて触れ合い、楽しむ場を提供しています。この団体が集まって構成された会が「所沢市文庫・親子読書会連絡会」です。

所沢図書館本館で2ヶ月に1回定例会を開催し、情報交換や交流を図っています。また、図書館見学や講演会等も行っています。

その他、図書館のイベント「子ども読書の日」や「図書館まつり」では、おはなし会や工作会でも活動しています。



# 図書館長のつぶやき

所沢市立所沢図書館長 中村まさみ



「所沢図書館のマスコットキャラクターは、なぜ『くま』なのか？」  
このところ、何人かの方から続けてお尋ねがありました。

報道などで、熊による人や農作物への被害が取り上げられ、怖くて恐ろしい動物としてイメージされるようになったからでしょう。

所沢図書館のマスコットキャラクターの名前は「トベア」。広報紙などに登場し始めたのは、1995年頃で、その頃は、ただ「くま」と呼ばれていて、名前はありませんでした。それではさびしいから、名前をつけてあげましょうということになり、2002年に市民の皆さまから募集し、「トベア」という名前をつけていただきました。名付け親は、当時市内小学校三年生の方です。では、「なぜ『くま』なのか」についてお話ししましょう。

むかしむかし、時代が昭和から平成に変わったところのお話です。

図書館本館の子ども室に、一匹のくまがいました。いつからいたのかは、よくわかりません。

大きくて茶色い、ふかふかのくまで、カウンターの前にある椅子に座

り、図書館にやってくる子どもたちを、職員と一緒に、何年も何年も見守っていました。一匹が旅に出ると、また新たなくまがやってきて、椅子に座りました。

子どもたちは、おはなし会の行き帰りに、くまにぎゅつと抱きついて、時には膝に座って一緒に絵本を読んだりしていました。

図書館では、くまたくんやパディントン、プーさん、ホットケーキを焼くしろくまちゃんとかぐまちゃんなど、くまが出てくる本も人気で、長く子どもたちに読み継がれています。『しらゆきべにばら』では強く頼もしい味方、『くまの子ウーフ』では、親子のくまが優しく暖かな雰囲気で開催し、ほっと癒されます。こうして多くの子どもたち、大人の皆さまにも愛されてきたくまを、図書館ではマスコットキャラクターにしたのです。

図書館にいる『くま』は人を襲いません。今は、各分館にもそれぞれマスコットがいて、くま、かっぱ、まんもす、ほたるなど賑やかにになりました。どのマスコットも地域で可愛がっていただけると嬉しいです。

## 図書館公式SNS

所沢市立所沢図書館の公式SNS(X、Facebook、Instagram)にて情報発信中！



アカウント名：【公式】所沢市立所沢図書館  
ID : toko\_library



X (旧 Twitter)



↓↓ SNSでは、以下の情報をお届けしています↓↓

- ★おはなし会・講演・講座などのイベント情報
- ★ブックリスト・今月の図書館・パスファインダー等の発行情報
- ★その他図書館に関する様々な情報

ぜひ、フォローして図書館ご利用の際にお役立てください！

Instagram



Facebook



編集発行：所沢市立所沢図書館 〒359-0042 所沢市並木 1-13

～ ホームページアドレス ～

パソコン <https://www.tokorozawa-library.jp/>

スマートフォン <https://www.tokorozawa-library.jp/opw/OPS/OPSINDEX.CSP>

～ 電話 / FAX ～

本館	04-2995-6311 / 04-2992-1421	富岡分館	04-2943-3636 / 04-2943-6680
所沢分館	04-2923-1243 / 04-2928-8195	吾妻分館	04-2924-0249 / 04-2928-8250
椿峰分館	04-2924-8041 / 04-2928-8148	柳瀬分館	04-2944-4023 / 04-2945-7236
狭山ヶ丘分館	04-2949-1193 / 04-2949-8577	新所沢分館	04-2929-1905 / 04-2929-1906
松井小学校図書館	04-2992-2796 / 04-2992-2797		

2026年 2月 2日発行 復刊いずみ38号 (通巻116号)